

年間授業計画

紅葉川高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1～6組： 宮良 ）

使用教科書： （ 音楽 I 改訂版 Tutti + （大修館） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親み、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配時
		歌	器	創						
ガイダンス	・学校や授業の価値 ・学習内容 ・目標と評価									2
1 歌唱 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音高や音価、強弱を意識しながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に歌唱表現の基礎を身に付けようとする。	指導項目 ・読譜 ・リズム読み ・発声の基礎 ・発声や発音と、それらの働きとの関わり ・歌詞の抑揚と音楽の構造との関わり ・音楽記号の意味とそれらの働きとの関わり ・著作権と社会生活 ・鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り				【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音高や音価、強弱を意識しながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的・協働的に歌唱表現の基礎を身に付けようとしている。					1
2 ギター 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・両手の使い方に注目しながら他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的にギターの基礎を身に付けようとする。	指導項目 ・読譜 ・リズム読み ・楽器の歴史や構造、扱い方 ・TAB譜の読み方 ・基本的な奏法（開放弦、音階等） ・鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り				【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・両手の使い方に注目しながら他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的・協働的にギターの基礎を身に付けようとしている。					1
1 歌唱 【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 ・重唱や合唱による歌唱表現の特徴を理解する。 ・他者との調和を意識して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠を持って評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に曲想を生かした表現を生み出そうとする。	指導項目 ・発声の基礎 ・和音の種類と、合唱にふさわしい歌い方 ・曲にふさわしい発声や発音と、それらの働きとの関わり ・伴奏の働きと歌との関わり ・鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り				【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・重唱や合唱による歌唱表現の特徴を理解している。 ・他者との調和を意識して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠を持って評価したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的・協働的に曲想を生かした表現を生み出そうとしている。					1



音  
度

当  
数

2

2

2

0

3
3
3
3
計
0

年間授業計画

紅葉川高等学校 令和8年度（1学年用）教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：西川）（2組：西川）（3組：西川）（4組：西川）（5組：西川）（6組：西川）

使用教科書：（新・高校生の美術I（日本文教出版））

教科 芸術 の目標：

【知識・技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創り工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や芸術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 彫	デ	映						
<p>●素描 基礎・発展（絵画表現）</p> <p>【知識・技能】 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力や判断力、表現力等を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。</p> <p>造形表現を追求する態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え方（調子、光、陰影、立体感など）について理解する。</p> <p>○カッターや定規などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。</p> <p>○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組む。</p> <p>○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）</p>	○			<p>【知識・技能】 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 基礎図形の描画法を応用しながら、組モチーフを、対象のイメージや空間を把握し鉛筆で描画することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16	
<p>1 学期</p> <p>●静物画（絵画表現）</p> <p>【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、静物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。</p> <p>意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわす。</p> <p>【思考・判断・表現】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや、その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練る。</p> <p>描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○心ひかれる静物をあらわすことに関心をもち、静物から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。</p> <p>○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。</p> <p>○光や陰影、奥行きの表現などを工夫して制作する。</p> <p>○絵具や筆などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。</p> <p>○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。</p> <p>○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）</p>	○			<p>【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、静物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや、その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。【発想・構想】 描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【思・鑑賞】 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。【態度・鑑賞】</p>	○	○	○	10	

2 学 期	<p>●立体制作（彫刻表現）</p> <p>【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとに、生命感をあらわした動物や植物の彫刻を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわす。</p> <p>【思考・判断・表現】 動物や植物などを見つめて感じ取った生命感などから主題を生成し、材料の特性を生かし、質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に動物や植物などを見つめ、感じ取った生命感をもとにした表現の創造活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○生命感をあらわした作品に関心を持ち、身近な人や動物などから感じ取った生命感から主題を生成する。 ○主題をもとに、材料やポーズ、構図などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（マスク端末の活用）</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとに、生命感をあらわした動物や植物の彫刻を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 動物や植物などを見つめて感じ取った生命感などから主題を生成し、材料の特性を生かし、質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に動物や植物などを見つめ、感じ取った生命感をもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	26
3 学 期	<p>●スケッチブック表紙デザイン（デザイン）</p> <p>【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわす。</p> <p>【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え、効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○メッセージを広く伝えるデザインに関心を持ち、メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。 ○形や色、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（マスク端末の活用）</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え、効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
合計										
70										

年間授業計画

紅葉川高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：梅田）（2組：梅田）（3組：梅田）（4組：梅田）（5組：梅田）（6組：梅田）

使用教科書：（書 I（光村図書））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
<p>●書写から書道へ・漢字の変遷</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。</li> <li>・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体や変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> <li>・漢字の書の変遷やその背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解させる。</li> <li>②臨書の方法、拓本に関する基礎的な知識を身につけさせる。</li> <li>③教科書 p 126「書写で学習したこと」や硬筆レッスン帳等を参照し、筆使い、字形、文字の大きさと配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。</li> <li>④漢字には五つの書体があることを理解させる。</li> <li>⑤それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解させる。</li> </ol> <p>（書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用）</p>									
		○		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の分野や書道で学習すること、小・中・学校の国語科書写で学習した内容を理解している。</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んで以降とする態度を養っている。</li> <li>・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	6	

1 学期	<p>●文字の造形を学ぶ（漢字の書・楷書1）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。</li> <li>・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。</li> <li>・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①鑑賞「あなたは、どの楷書が好き？」（教科書p26.27）より、文字を比較して自分が好きなものを選び、線質や字形の特徴について自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>②唐の四大家について学ぶ。人柄や政治的立場、代表作を知る。</p> <p>③孔子廟堂碑（教科書p30～33）を鑑賞し、伸びやかな点画や向勢で丸みのある書風を感じ取り、点画の特徴を意識して臨書させる。</p> <p>④九成宮醴泉銘（教科書p34～37）を鑑賞し、直線的で鋭い点画や背勢がもたらす厳格な書風を感じ取り、点画の特徴を意識して臨書させる。</p> <p>⑤a雁塔聖教序（教科書p38～41）とb顔氏家廟碑（教科書p42～45）を比較鑑賞し、aの変化に富んだ点画とbの肉太の点画や向勢の構えの書風の違いを理解し、どちらか一方の古典を選んで臨書させる。</p> <p>⑥完成した作品を並べて鑑賞し合い、用筆や紙面のまとめ方などの工夫を感じ取る。</p> <p>（書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用）</p>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知識・表現）</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知識・鑑賞）</li> <li>・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。（技能）</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。（表現）</li> <li>・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。（鑑賞）</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。（表現）</li> <li>・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑賞）</li> </ul>																14
	<p>●文字の造形を学ぶ（漢字の書・楷書2）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。</li> <li>・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。</li> <li>・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①a牛橛造像記（教科書p48・49、153～156）とb鄭義下碑（教科書p50・51）を比較鑑賞し、aの刻法によって生じる独特な点画や字形、方勢による力強さや重厚感、また、bの丸みのある点画や、空間を包むような大回りの運筆、悠然とした文字の構えなどの特徴を理解させる。</p> <p>②aとbどちらか一方の好きな古典を選び、古典それぞれの点画や線質・字形の特徴を意識して臨書させる。</p> <p>③完成した作品を並べて鑑賞し合い、用筆や紙面のまとめ方などの工夫を感じ取る。</p> <p>（書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用）</p>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知識・表現）</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知識・鑑賞）</li> <li>・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。（技能）</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。（表現）</li> <li>・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。（鑑賞）</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。（表現）</li> <li>・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑賞）</li> </ul>																6

	<p>●篆刻</p> <p>【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の鑑賞、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①印の使い方や種類、篆刻に必要な用具とその使い方を理解させる。 ②選文・検字から押印・補刀までの制作手順を理解させる。 ③篆書「皇帝」を鑑賞して篆書の特徴を感じ取り、楷書との違いを知る。 ④自分の氏名の篆書を検字し、篆書の線質や字形で印稿を制作させる。 ⑤白文印か朱文印を選び、印を制作する。白文印と朱文印では線の太さが異なるので注意を促す。 ⑥布字はマジック転写で行う。 ⑦運刀については、印床を用いながら怪我がないように留意させる。刀の角度と深さを意識して、力強く一気に運刀するよう指示する。 ⑧撃辺は適宜行い、完成したら作品に押印する。 (教科書、篆書字典、書画カメラ、プロジェクター、ワークプリ</p>					<p>【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現) ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。(知識・鑑賞) ・漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。(表現) ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現) ・主体的に篆刻の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)</p>				10
2 学期	<p>●文字の造形を学ぶ(漢字の書・行書)</p> <p>【知識及び技能】 ・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続、省略などの特徴を理解させる。 ②蘭亭序(p54~58、145~148)を鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。 ③教科書やスライド資料を参考に、書道史における書聖・王羲之と蘭亭序の価値を理解し、その書風や文章の内容を理解する。 ④蘭亭序の抑揚を利かせた用筆、多様な字形などを確認し、筆脈と抑揚を意識して臨書させる。 ⑤空海の人物像や書道史における位置づけについて理解する。 ⑥風信帖(教科書p62・63、141~144)を確認し、書かれた経緯や書風、文章の内容と大意を理解する。 ⑦風信帖の重厚感のある用筆、安定した字形等意識して臨書させる。 (書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用)</p>					<p>【知識・技能】 ・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現) ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。(知識・鑑賞) ・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。(表現) ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現) ・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)</p>				16



紅葉川高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1～6組：宮良）

使用教科書：（『高校生の音楽2』（教育芸術社））

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配当 時数	
		歌	器	創							
ガイダンス	・昨年度の成果と課題 ・今年度の学習内容 ・目標と評価								○	1	
1 歌唱 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音高や音価、強弱、テンポを意識しながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協動的に曲想を生かした歌唱表現を生み出そうとする。	指導項目 ・発声の基礎 ・曲にふさわしい発声や発音と、それらの働きとの関わり ・曲想と音楽の構造（音高と強弱、テンポ）との関わり ・伴奏の働きと歌との関わり ・作品の解釈 ・著作権と社会生活 ・鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り								○	○	7
2 キーボード 【知識及び技能】 ・キーボードの基礎を理解する。 ・適切に準備・片付けをする。 ・演奏にふさわしい指や身体の使用などの技能を身に付ける。 ・読譜の知識・能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・指使いや左手の使い方を創意工夫しながら演奏し、曲想を生かした表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協動的に指使いや左手の工夫をし、曲想を生かした器楽表現を生み出そうとする。	指導項目 ・キーボードの歴史等基礎知識 ・適切な準備・片付け ・基本的な奏法 ・指使いやテンポ、伴奏の工夫 ・楽典（読譜の基本、音階、コード） ・作品の解釈 ・曲想を生かした表現 ・鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り								○	○	14

<p>1 歌唱</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。</li> <li>重唱や合唱による歌唱表現の特徴を理解する。</li> <li>他者との調和を意識して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりする技能を身に付ける。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠を持って評価したりする。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に、曲想を生かし自分なりのイメージをもって歌唱表現しようとする。</li> </ul>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲にふさわしい発声や発音と、それらの働きとの関わり</li> <li>和音の種類と、重唱や合唱にふさわしい発声や発音</li> <li>和音作りの基礎</li> <li>各パートの関わりとふさわしい表現</li> <li>曲想と音楽の構造（音高と強弱、テンポ）との関わり</li> <li>伴奏の働きと歌との関わり</li> <li>鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り</li> </ul>	○	○	<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</li> <li>重唱や合唱による歌唱表現の特徴を理解している。</li> <li>他者との調和を意識して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりする技能を身に付けている。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他者との調和を意識して工夫して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりすることができる。</li> <li>自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠を持って評価したりする。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に曲想を生かし自分なりのイメージをもって歌唱表現している。</li> <li>鑑賞によって得た知識や気づきを自身の演奏や他者との調和した演奏に活かしている。</li> </ul>	○	○	○	14
<p>2 鑑賞</p> <p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴と文化的・歴史的背景、世界の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさについて自ら味わう。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解したり、音楽のよさや美しさについて味わったりする。</li> </ul>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の音楽（西洋音楽、アジアの音楽）の種類や歴史、音楽の特徴</li> <li>音楽表現の共通性や固有性</li> <li>音楽の文化的・歴史的価値や良さ</li> </ul>	○	○	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりや、世界の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさについて自ら味わっている。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解したり、音楽のよさや美しさについて味わったりしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>3 箏</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。</li> <li>曲にふさわしい奏法、身体の使用などの技能を身に付ける。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己のイメージをもって箏の演奏を創意工夫したり、他者の演奏を根拠をもって評価している。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に箏の基礎を身に付けようとする。</li> </ul>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箏の楽譜の読み方</li> <li>楽器の歴史や構造、扱い方</li> <li>基本的な奏法</li> <li>強弱やテンポの表現上の効果</li> <li>鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り</li> </ul>	○	○	<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>曲にふさわしい奏法、身体の使用などの技能を身に付けようとしている。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己のイメージをもって箏の演奏を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に箏の基礎を身に付けようとしている。</li> </ul>	○	○	○	10

1	<b>鑑賞</b> <b>【知識】</b> ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりや、我が国の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさについて自ら味わう。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・主体的・協働的に音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解したり、音楽のよさや美しさについて味わったりする。	<b>指導項目</b> ・日本音楽（歌舞伎、文楽）の種類や歴史、音楽の特徴、芸能同士の関わり				<b>【知識】</b> ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりや、我が国の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさについて自ら味わっている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・主体的・協働的に音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解したり、音楽のよさや美しさについて味わったりしている。	○	○	○	10
3 学期	<b>2 創作（キーボードを用いて）</b> <b>【知識及び技能】</b> ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して旋律を作ったり、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・自己のイメージをもって創作活動を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・主体的・協働的に箏の基本奏法や簡単な旋律の創作・変奏・編曲技能を身に付ける。	<b>指導項目</b> ・基本的な作曲技法とそれらの働き ・簡単な旋律の創作やその変奏・編曲				<b>【知識及び技能】</b> ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して旋律を作ったり、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けている。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・自己のイメージをもって創作活動を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・主体的・協働的に箏の基本奏法や簡単な旋律の創作・変奏・編曲技能を身に付けようとしている。	○	○	○	8 <hr/> 合計 <hr/> 70



2 学 期	<p>●油彩画（絵画表現）</p> <p>【知識・技能】 油絵の具の特徴を十分に理解し、表現技法の知識や創造的に表す技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 造形的な見方・考え方を働かせ、自然や自己、社会との関わり、自己の内面や在り方などを深く見つけ、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、独自性や自分らしさを発揮しながら表現する。</p> <p>油彩画の歴史における各時代の変遷や特徴的な表現にも目を向け、自らの表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自己の内面を設定した主題を見つめ、感じ取ったことをもとにした表現の創造活動に取り組む。</p> <p>絵画表現の可能性を追求する態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○参考作品に関心をもち、自身の日常生活の中から興味・関心を持った事柄から主題を生成する。</p> <p>○主題をもとに、構図・描画方法（写実的・抽象的）などの構想を練る。</p> <p>○材料や用具の特性を生かして制作する。</p> <p>○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。</p> <p>○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）</p>	○				<p>【知識・技能】 油彩画の幅広い表現技法を身に付ける。 絵の具や多様な画溶液などの材料、筆やナイフなどの用具のもつ特性について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自らの主題に応じた表現技法を追求している。 油彩画の歴史における各時代の変遷や特徴的な表現にも目を向け、自らの表現を工夫できる。</p> <p>西洋画の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に主題を構成するモチーフなどを見つめ、感じ取った事柄をもとにした表現の創造活動に主体的・積極的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	26
3 学 期	<p>●学校紹介動画制作（映像表現）</p> <p>【知識・技能】 映像表現の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。</p> <p>各自または各グループが設定したテーマに基づき、企画書・絵コンテを基に、機材やソフトウェアの特性を理解し、制作することができる。</p> <p>著作権法を理解し、制作をする上で十分な配慮をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 撮影の際の構図やカメラワーク、編集の際のエフェクトや効果音を工夫するなど、創造的な表現の構想を練る。</p> <p>他校の学校紹介動画を鑑賞し表現効果などを感じ取り、制作時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、映像表現ならではの表現の創造活動に取り組む。</p> <p>沢山の動画作品を積極的に鑑賞したり、より作品の完成度を上げようと努力できる。</p> <p>映像表現の可能性を追求する態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○学校紹介動画に関心をもち、自分の学校をPRできる要素を日常生活の中から発見し、主題を生成する。</p> <p>○著作権法を理解する。</p> <p>○主題をもとに、企画書、絵コンテを通して構図、動き（カメラワーク）などの構想を練る。</p> <p>○機材やソフトウェアの特性を生かして制作する。</p> <p>○進捗状況報告や中間発表を通した発見や気づきを通して、制作意欲を高めあう。</p> <p>○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。</p> <p>○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）</p>	○				<p>【知識・技能】 映像表現の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、制作時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に、映像表現ならではの動きなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>映像表現の可能性を追求している。</p>	○	○	○	18
											合計
											70

紅葉川高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：梅田）（2組：梅田）（3組：梅田）（4組：梅田）（5組：梅田）（6組：梅田）

使用教科書：（書Ⅱ（教育図書））

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価標準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
<p>●書へのいざない</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の書・仮名の書を構成する様々な要素について理解させる。</li> <li>漢字の書・仮名の書古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて伝える。</li> <li>名筆や現代の様々な書の表現、古典の特徴と、用筆・運筆との関わりについて伝える。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるよう指導する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう促す。</li> </ul>	<p>●書へのいざない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私たちは臨書で何を学ぶのか、書の創作に必要なものを考えさせる。</li> <li>合同作品制作（漢字仮名交じり）</li> </ul>	○		○	<p>●書へのいざない</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の書・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。</li> <li>漢字の書・仮名の書古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>線質や字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書、仮名の書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	6	
<p>●漢字の書（篆書・隸書・草書）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>篆書・隸書・草書を構成する様々な要素について伝える。</li> <li>篆書・隸書・草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりや、篆書・隸書・草書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて伝える。</li> <li>篆書・隸書・草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書道Ⅰの学習を踏まえ、篆書・隸書・草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。</li> <li>篆書・隸書・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に篆書・隸書・草書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> </ul>	<p>●篆書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>篆書の特徴を知る。</li> <li>「馬」字を通して篆書の特徴とその歴史について理解を深めさせる。</li> <li>石鼓文の臨書を通して大篆の書美を学ぶ。</li> </ul> <p>●隸書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>隸書の特徴を知る。</li> <li>「平成」字を通して隸書の特徴とその歴史について理解を深めさせる。</li> <li>乙瑛碑の臨書を通して隸書の書美を学ぶ。</li> <li>居延漢簡、開通褒斜道刻石の臨書を通して時代、風土、筆者などとの関わりについて学ぶ。</li> </ul> <p>●草書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草書の特徴を知る。</li> <li>「神融筆暢」字を通して草書の特徴とその歴史について理解を深めさせる。</li> </ul>	○		○	<p>●漢字の書（篆書・隸書・草書）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>篆書・隸書・草書を構成する様々な要素について理解している。</li> <li>篆書・隸書・草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりや、篆書・隸書・草書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。</li> <li>篆書・隸書・草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書道Ⅰの学習を踏まえ、篆書・隸書・草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>篆書・隸書・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に篆書・隸書・草書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	10	

1  
学  
期

<p>●漢字の書の作品制作 1</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。</li> <li>・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。</li> <li>・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。</li> <li>・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。</li> <li>・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道 I の学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。</li> <li>・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。</li> <li>・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。</li> <li>・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> <li>・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> </ul>	<p>●漢字の書の作品制作 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代書の作品鑑賞をする。</li> <li>・半紙に臨書作品を制作する。</li> </ul> <p>(篆書・隸書から好きな古典を選び、古典の書風を基に半紙に好きな文字を書く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・扇面に臨書作品制作をする。</li> </ul> <p>(草書の古典「書譜」の中から好きな文字を扇面に臨書する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ屏風創作作品制作をする。</li> </ul> <p>(屏風に篆書・隸書・草書の中から好きな書体を選び、構成を考えて好きな文字を書体の特徴を基に制作する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半切四分の一看板作品制作をする。</li> </ul> <p>(架空の店の看板を考え、店のテーマにふさわしい書体と趣で書く)</p>	○	○	○	<p>●漢字の書の作品制作 1</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。</li> <li>・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。</li> <li>・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。</li> <li>・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。</li> <li>・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道 I の学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。</li> <li>・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。</li> <li>・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。</li> <li>・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> <li>・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	10
---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

<p>●刻字 【知識及び技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解させる。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・刻字の特質とその歴史について理解を深めさせる。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・刻字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に刻字の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に刻字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</p>	<p>●刻字 ・書を凹凸で表現する。 (書稿作成/彫刻刀で刻す/着色する) ・はがき大の書作品を制作する。 ・彫刻刀での刻し方を知る。 ・アクリル絵具の使い方、色の調合についてを知る。 ・拓本を採る。 ・拓本の仕組みを知る。 ・作品・拓本の鑑賞</p>	○	○	<p>●刻字 【知識及び技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・刻字の特質とその歴史について理解を深めている。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・刻字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に刻字の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に刻字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
<p>2 学 期</p> <p>●漢字の書の作品制作2 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</p>	<p>●漢字の書の作品制作2 ・全紙二分の一に篆書・隸書・草書いずれかの古典を選択し臨書作品を制作する。 ・古典の特徴を調べる。 ・古典の特徴を基に作品制作する。 ・作品に応じた用具(筆・紙)を使用する。 ・大画仙紙へのまとめ方を学習する。 ・長落款の書き方を知る。 ・長落款を作文して書く。 ・作品鑑賞をする。</p>	○	○	<p>●漢字の書の作品制作2 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解を深めている。 ・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10



教科：芸術

科目：音楽Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：(1～6組：宮良)

使用教科書：(Joy of music (教育芸術社))

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
<p>●歌唱 (sento nel core、コンコーネ 他) 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことで感じたこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>・指導事項 ○歌う時の姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用) ○鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り</p>				<p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことで感じたこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>					12
<p>●器楽 (ギター、ピアノ個人課題) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏をするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 演奏に関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組む</p>	<p>○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用) ○鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り</p>				<p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏をするかについて創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 演奏に関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組もうとしている</p>					10

2 学 期	<p>●歌唱 (イタリア歌曲、日本歌曲、ソルフェージュ 他) 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>○ドイツ語の発音の特徴を理解する ○ドイツ語のアクセントやリズムや旋律との関わりを理解する ○歌詞の内容を理解し、表現を工夫する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用) ○鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8
	<p>●鑑賞 音楽史 【知識及び技能】 近現代音楽の特徴を理解する【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴く 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>○各作曲家の作風、考え方、音楽の構造を理解する。 ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 音楽の循環的な構造を理解している【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴いている 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8
	<p>●器楽 (ピアノアンサンブル、個人課題) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブルに関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組む</p>	<p>○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用) ○鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにアンサンブルをするかについて創意工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 アンサンブルに関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12



年間授業計画

紅葉川高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅲ

教科：芸術

科目：美術Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（1～6組：西川）

使用教科書：（美術3（光村図書））

教科 芸術

の目標：

【知識・技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅲ

の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
<p>●自由構成画（絵画・彫刻表現）</p> <p>【知識・技能】 形や色彩、材料などの性質や造形的な特徴などをもとに、設定した主題であらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 表現する画材を選択し、主題に合わせて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、個性を生かして創造的にあらわす。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分で設定した主題をもとに、自己の経験や身近なものを見つめ、感じ取った特徴や自分の思いなどから個性を生かした創作主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 自分で設定した主題であらわした作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自然や自己、社会などを表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした絵画表現の創造的な諸活動に取り組み。 主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造的な諸活動に取り組み。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○自分で設定したモチーフから自己の内面を深く見つめ、感じ取ったことから主題を生成させる。</p> <p>○主題を表現するのに最も適切な画材や材料を選択し、表現技術を習得する。</p> <p>○形や色彩、材料などの造形要素の性質や特徴を理解し、材料や用具の特性を生かして表現を工夫させる。</p> <p>○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組みさせる。</p> <p>○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）</p>	○		○	<p>【知識・技能】 形や色彩、材料などの性質や造形的な特徴などをもとに、自分で設定した主題であらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 主題に合わせて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、個性を生かして創造的にあらわしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分で設定した主題をもとに、自己の経験や身近なものを見つめ、感じ取った特徴や自分の思いなどから個性を生かした創作主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 自分で設定した主題であらわした作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に自然や自己、社会などを表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした絵画表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	26

